

膝の痛みを軽くする新たな治療を開始

～甘木中央病院～

服薬・注射と手術の中間的治療で選択肢が広がる

自然豊かな朝倉地区に根差した医療機関として約70年になるうとする甘木中央病院は、開業以来、一貫して地域住民により良い医療環境を提供しています。中でも整形外科を中心にした手術には力を入れていることが特長といえます。このエリアは農業に従事している人が多く、足腰の痛みが原因で思うように動けないという悩みを持つ患者さんたちや膝の痛みを抱える人たちの悩みを少しでも軽減したいという治療を2024年3月に導入しました。それが従来の服薬・注射、手術の中間ともいえる「ラジオ波治療」です。そこで甘木中央病院理事長 整形外科医の堀田謙介氏に変形性膝関節症の症状や治療についてお話を伺いました。

加齢とともに

膝軟骨の減少が原因に

堀田 変形性膝関節症は膝の内側の軟骨がすり減っていくことで骨や軟骨が変形し、痛みや腫れが生じる病気です。膝のクッションの役目をする軟骨がすり減ることで上下の骨がむき出しになり痛みを感じるのです。と同時に変形が進み、動きが制限されてしまいます。また、O脚変形が起こります。原因は加齢に伴い関節軟骨の弾力が失われていく老化や肥満などが考えられます。立ち上がりや動き始めに痛みを感じることが初期症状で、歩くと膝が痛む、正座や階段の上り下りがつらくなる中期を経て、変形が目立って膝が伸びず歩行も困難になる末期となります。患者さんは高齢

者が多く、男女比では圧倒的に女性が多くなっています。これは女性の方が男性に比べて筋力が弱いためと考えられます。

診断はまず問診で症状などをしっかりと聞き、触診で動きの制限なども確認します。その後X線撮影を行います。必要な場合はMRIなどの検査もします。変形性膝関節症と診断したら治療に移ります。

末梢神経ラジオ波焼灼療法は保険適用

堀田 治療は大きく分けて手術をするかしないかの2通りがあり、まずは非手術である保存的治療を行います。薬の服用、湿布、ヒアルロン酸注射、リハビリ、サポーターなどの装具を使用し、自宅で体力・筋力づくりなどを行います。これで楽

になる人もいればそうでない人もいます。しかし、これにしても変形という本質そのものを変えているわけではありません。楽にならない、歩けない、変形が進行して痛みがひどいといった場合は手術となります。手術は人工関節置換術(耐用年数は15～20年)、プレートやネジなどで固定する骨切り術などが一般的です。手術の場合は、入院する必要があり、これらも保険適用となります。ほかに患者さんの血液などを抽出し注射器で膝に入れる方法があります。この治療は保険適用外となります。いずれも痛みを取る効果や期間は人によってまちまちです。

保存的治療と手術が今までの変形性膝関節症の治療方法でしたが、この中間ともいえるのがラジオ波の熱を使った「末梢神経ラジオ波焼灼療法」です。2023年6月から保険適用になったことで、膝の治療の選択肢が増えたといえるでしょう。

ラジオ波治療は患者さんの負担も軽減

堀田 この治療は変形性膝関節症の診断を受けた人が対象となります。痛みを感じる3つの神経にラジオ波を流して熱を発生させ、神経のたんぱく質を変形させて痛みを中・長期(約2年)にコントロールすることができ、治療前に痛みを伝える末梢神経に麻酔薬を注射して、効果があるかどうかを確認し適応を判断します。その後、処置当日の日程を決めます。処置は1時間ほどかかります。手術ではありませんから、

変形そのものはそのままにしています。当院では導入後1カ月半で約20人がこの治療法を受けています。しかも治療後は服薬や注射も必要がなくなる場合もあり、患者さんの負担が少なくなります。2年後くらいに治療の効果が薄れた場合は繰り返し実施することもできます。

高齢者やいろいろな疾患があつて手術ができない人、長期入院が難しい人にとって、この治療は新しい選択肢になると思います。保険適用ですし、高額医療費制度の適用などで支払いの負担を減らせる可能性もありますので、気軽にお問い合わせください。

笑顔で仕事や暮らしを楽しむサポートを

堀田 膝の痛みが軽減されることは日々の活動量が増えることになり、生活の質も大きく向上すると思います。先ほどとお話ししましたが、この新治療は変形そのものが残っているまま、変形が進行し、この治療でも痛みのコントロールがつかない人には手術をすることもあります。当院では昨年9月に導入した人工関節手術支援ロボットを活用しています。ロボット導入はその人に応じたオーダーメイドの手術計画をもとに短時間で誤差の少ない高精度な手術が期待できます。ロボットが手術をすると誤解されそうですが、手術はあくまでも医師が行い、ロボットはそのサポーターとしての役割を果たします。膝の悩みを持つ人にとって、新治療や手術支援ロボット導入が朗報になってくれれば、と思っています。



末梢神経焼灼療法機器(保険適用)



患者さんの日常生活を楽しく、楽に。私はそのサポーターに徹します。

患者さんの日常生活を楽しく、楽に。私はそのサポーターに徹します。

患者さんの日常生活を楽しく、楽に。私はそのサポーターに徹します。

患者さんの日常生活を楽しく、楽に。私はそのサポーターに徹します。

患者さんの日常生活を楽しく、楽に。私はそのサポーターに徹します。

〈企画・制作／西日本新聞広告社〉



医療法人 社団 俊聖会

甘木中央病院

〒838-0068 福岡県朝倉市甘木667
TEL:0946-22-5550

理事長 堀田 謙介

診療科目

整形外科、リハビリテーション科、内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、外科、小児外科、脳神経外科、精神科、放射線科

診療受付時間

- 平日・土曜日 8時30分～11時30分、13時00分～17時30分
- 第2土曜日 8時30分～11時30分
- 休診 第2土曜日夜後・日曜・祝日、8月15日、12月30日～1月3日

交通アクセス

- お車でお越しの場合 大分自動車道「高速甘木インター」より車で約3分
- 電車でお越しの場合 西鉄電車甘木線「甘木」駅より徒歩約7分
甘木鉄道「甘木」駅より徒歩約8分

詳細は下記2次元コードよりご確認ください。




甘木中央病院HP

甘木中央病院
整形外科公式LINEアカウント

